

教育行政報告

最近の教育行政について報告いたします。

○ 公立高校等の入試状況について

これまでは、1月下旬に前期選抜、3月上旬に一般選抜が実施されてきましたが、令和5年度の秋田県公立高等学校入学者選抜制度の改正により、前期選抜に代わり特色選抜が実施されることになりました。

特色選抜は一般選抜と同じ3月7日に行われます。

コロナ禍の中、自分の進路の実現に向けて努力を積み重ねてきた生徒たち全員が、笑顔で春を迎えることを切に願っております。

○ 学校環境適正化検討委員会について

これまで3回の会議を開催し、今後の市内小中学校のあり方について検討を進めております。

年度内に、さらに2回の委員会を開催し、3月末には提言書を提出することとしております。提言書が提出された後は、提言の内容を踏まえ、教育委員会で協議・調整し、方針や計画を策定していくこととしております。

○ にかほ市二十歳を祝う会について

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、1年延期となっておりました「令和3年度にかほ市成人式」を、「令和4年度にかほ市二十歳(はたち)を祝う会」と名称を変え開催しております。

対象者279人のうち173人が参加し、友人や恩師との再会を喜びあう姿が非常に印象的でありました。

令和5年度からは、対象年齢を20歳を迎える年度から21歳を迎える年度に変更して開催して参ります。

○ 子どものつどいについて

市内3公民館で、小学生を対象に、地域の方々から工作や遊び、スポーツを教わる「子どものつどい」を実施いたしました。

1月6日の仁賀保公民館には66人、1月11日の金浦公民館には39人、1月12日の象潟公民館には75人の児童が参加し、皿回し体験、たこ作り、割りばし鉄砲作り、しぼり染め、かるた大会、卓球、ミニテニスなどを楽しみました。

地域住民と子どもたちの貴重な交流の場として、また、新たな体験をする場として、今後も工夫を重ねて実施して参ります。

○ 白瀬中尉をしのぶ集いと関連イベントについて

白瀬南極探検隊が大和雪原に到達した1月28日を記念し、雪中行進を行っております。

今年度もコロナ禍を配慮し、規模を縮小しての開催となり、市長をはじめ、市議会議員、教育委員、自衛隊関係者、超神ネイガー、白瀬顕彰会等関係者及び一般市民など総勢36人が行進しました。

午後からは関連イベントとして、にかほ市の有志及び本荘高校演劇部員の協力による、市民劇「星のゆくえ～わたしの白瀬南極探検隊～」を仁賀保勤労青少年ホームで上演しております。

市内の楽団やコーラスグループも共演して、白瀬の生涯を描いた壮大な物語を熱演し、上演後は約180名の観客から大きな拍手が送られました。

市民劇に続き、冒険家阿部雅龍氏から「白瀬の夢への再挑戦」というテーマで、今年11月に予定している「白瀬ルート」による単独徒歩での南極点到達再挑戦への決意を語っていただきました。